

土砂災害から身を守るためには

岩沼西小学校

六年

白岩

悠衣

最近、日本では自然災害が多いと感じています。その中でも私がしようげきを受けた災害は、令和三年七月に起きた熱海市伊豆山土石流災害です。大雨の影響により土石流が発生し、連日ニュースで報道されていきました。私もあのニュースを見た時はとてもこわい気持ちになりました。自然の力というのはとても強いものだと思います。

たくさんさんの家や車や道路などさつきまでふうつうに生活していた大切な場所が土石流で一気に流されこわされてしまいました。そして一番大切な命までも。

熱海市の人達は現在でも大変な思いをしています。るのだと感じました。

私は熱海市伊豆山土石流で起きた土石流の特ちようについて本で調べてみました。土石流が発生する特ちようは、山鳴りがする、川の

水がにぎる、雨が続いてくるのに川の水位が

下がる、くさった土のにおいがする、などが
あります。
土石流は大雨で起こるだけではなく、地震
で土石流が発生したり火山でどろ水のような
土石流も発生したりします。その速さはとて
も速く、ときには車と同じ速さぐらいの時も
あり、土石流が発生してから避難することは
不可能だそうです。
どうすれば土砂の被害を防ぐことができる
のかを調べてみたところ、どこか安全な場所
に避難することが大切だと知りました。
土砂災害には、地すべりがけくずれ災害
もあります。二〇〇四年、十月二十三日、新
潟県中越地方を中心としたマグニチュード六
・八の地震が発生し、地すべりやがけくずれ
が確認されたと言われています。土砂災害が
起きたときに、命を守る方法は、まずは避難
することです。あらかじめハザードマップで、
自分の家は危険なところにあるかどうかを知
ることが大切だそうです。

次にどうして土砂災害は発生するのかについて説明していきます。

一つ目は大雨による土砂災害はなぜ起きるのか。それは、大雨がふると雨水が地中にしんとうし、山のしや面では、土の重さで落ちようとするものと止めようとするものがはたらきあっていきます。そしてしんとうした水は、くずれを止めようとする力を小さくすること
ができ、その結果、山くずれが発生するとい
うこととです。

二つ目は火山ふん火による土石流はなぜ起きるのか。それは、火山のしや面は、水を通しやすいようになつていきます。そのため、雨は地下水となり、山のふもとからわきでてい
るのです。火山がふん火すると火山灰が積も
ります。ふつた雨は火山灰の表面を流れ、そ
のときに水は火山灰をまきこみ、土石流とな
るということとです。

三つ目は、地震による山くずれ、がけくずれはなぜ起きるのかを説明していきます。地

震のゆれが、けいしやのある地ばんをゆさぶり、そのカが大きければ大きくなるほど、土のそのうの弱いところ、などから山くずれ、地すべりなどが起こるのです。

この三つのことで土砂災害は発生します。やはり大切なことは、自分の命を守るということだと思えます。

日本は、土砂災害が発生しやすい国土の環境にあります。過去十年間の日本の土砂災害発生件数をふり返ると、日本は一年間で約千件もこえていいるそうです。特に多いのは北海道、静岡県、高知県などです。

このことを学んで、土砂災害というのは色々な原因があると思われました。今、災害が起きていないいうちにハザードマップで家族と場所を確認したり、防災グッズを用意しておくことが大切だと考えられます。私たち一人ひとりが意識を高め減災することです。大切な命を守る事ができると思っています。私たちの未来のために。